

お天気解説

アキラのズバツと

温暖化による影響シリーズ

「東京地方の気候変動」その3

東京、昔の平年値は

令和6年1月19日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

今週は寒かったですね。先日(1月13日)、東京都心で初雪が観測されました。初雪の平年値が1月3日なので、10日遅れです。現在の平年値(2021年更新)は1991年から2020年までの観測データを基に作成されています。平年値は10年ごとに更新され、次回は2031年、温暖化が進んだ2001~2030年のデータを基に更新されます。

さて今回は、東京都心の平年値、昔(1971年)と今(2021年)について紹介します。これを見て東京の昔と今を比べてみましょう。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均気温	1971年 4.1	4.8	7.9	13.5	18.0	21.3	25.2	26.7	23.0	16.9	11.7	6.6
	2021年 5.4	6.1	9.4	14.3	18.8	21.9	25.7	26.9	23.3	18.0	12.5	7.7
降水量	1971年 48.8	64.6	98.0	121.9	145.4	192.3	140.0	152.8	182.1	203.3	96.2	57.9
	2021年 59.7	56.5	116.0	133.7	139.7	167.8	156.2	154.7	224.9	234.8	96.3	57.9

月平均気温(上2段,℃)・月降水量(下2段,mm)の平年値(東京都心) ㊤1971年 ㊦2021年

表は、1971年・2021年に作成された気温・降水量の各月の平年値です。1971年の平年値は1941~1970年、2021年の平年値は1990~2021年のデータを基に作成されたものです。これを見ると、気温は昔より上昇しているのがわかります。月別にみると、昔の東京の1月(4.1℃)は現在より1.3℃も低く、現在の福島県小名浜(いわき市)と同じ気温です。このように冬の気温がかなり上昇しているのがわかります。また、3月の気温も、昔7.9℃だったのが現在は9.4℃と1.5℃も上昇して、急に暖かくなっています。入学式の花だった桜は、今は卒業式のものになっていますね。降水量はあまり変化していませんが、春と

日付	今日 19日(金)	明日 20日(土)	明後日 21日(日)
東京地方	晴後曇 	曇後雨が雪 	雨か雪
降水確率(%)	-/-/0/10	10/10/40/50	90
信頼度	-	-	-
東京 気温 (℃)	最高 14	9	10 (8~14)
	最低 -	4	3 (2~5)

東京地方の週間天気予報より

気象庁HPから抜粋

(週末は両日とも雨が降りそうです)

秋が多くなり、6月が少なくなっています。台風や秋雨前線による大雨が多くなった傾向も反映されているのではないのでしょうか。一方、震災のあった北陸地方は冬の降水量も多く、輪島では1月でも219.2mmも降るので、災害対応にも困難さを伴うことと思います。

このように平年値を比べることで、その土地の気候変動や、他の地方との比較もできます。

次回は「東京の冬はこんなに寒かった」というタイトルで話題提供します。